

移動結婚式場に活用 沖縄公庫 千代田に6000万出資

沖縄振興開発金融公庫（川上好久理事長）は18日、リーディング産業支援出資として千代田プライダルハウス（北谷町、元田徹社長）に6千万円を出資したと発表した。同社は今



リーディング産業支援出資を受けた千代田プライダルハウスの元田徹社長（中央）＝18日、那覇市の沖縄振興開発金融公庫

後、移動式の結婚式場「モバイル・チャペル」の導入を進めていく。出資は3月24日に実施された。モバイル・チャペルはビーチや観光施設などに設置が可能で、あらゆる場所で

挙式できる。同社は出資金を活用して5月からモバイル・チャペルの整備を進め、6月末に模擬挙式を開くことを目指している。このほか、和装体験サービスの強化や、外国人訪日客に対応するための人材育成も進めていく。

元田社長は「（モバイル・チャペルが）沖縄の新たなリゾートウエディングのメニューになり、もっと多くの人たちに沖縄へ足を運んでもらえるようにしたい」と話した。

千代田 移動チャペル 沖縄公庫が600万円出資

沖縄振興開発金融公庫（川上好久理事長）は18日、産業育成を目的にしたリーディング産業支援で、千代田ブライダルハウス（元田徹代表）に6千万円を出資したと発表した。出資は3月24日付。

同社は県内へのインバウンド（訪日外国客）の増加を見込み、ビーチや観光地などでのオリジナル挙式に対応できる移動式の「モバイル・チャペル」の制作を計画。そのほか和装体験サービスの強化や外国語対応の人材育成にも取



り組む。
モバイル・チャペルは全長5層と11層の2タイプを制

モバイル・チャペルのイメージを前に、事業拡大への意欲を見せる千代田ブライダルハウスの元田徹代表（中央）＝那覇市・沖縄振興開発金融公庫

作。6月下旬にもサービスを開始する予定。元田代表は「価格を幅広く設定しており、小規模な地元企業でもリゾートウエディングができる。今回の事業拡大でインバウンド増加の一翼を担えれば」と意気込んだ。
リーディング産業支援は観光や情報通信のほか、スポーツや健康などの沖縄の優位性を生かした次世代産業の育成を目的に行われている。